

未来 Create Club とは

1 未来 Create Club について

市内中学生 2,615 人の内、11 人で構成されるクラブ。「袋井市の防災の力になりたい」という思いをもった生徒が集まり、思いの実現に向けて活動している。

2 主な活動実績

(1) 石川県穴水町でボランティア活動（7月13日・14日）

袋井のメロンやお茶等を仮設住宅で生活する方々に振る舞った。【カフェ】被災者の心のケアをするボランティア活動を行った。

(2) 自分たちなりに実践したいことについて話し合い（複数回）

→地域防災訓練で自分たちの考えを取り入れた訓練を実施したい。

(3) 中学生未来会議で市長はじめ市の職員等と協議（8月19日）

ボランティア活動の経験を地域防災訓練に生かすことを提案。

(1) 穴水町でのボランティア活動



(2) 実践したいことの話し合い



(3) 中学生未来会議での提案



中学生からの提案

(1)「簡易トイレ」の必要性や使い方を伝える

ルールが決まっていない避難所のトイレでは、様々なデメリットがあると感じた。

- ① トイレに行けないと水分や食事を摂ることを控えてしまい体調不良を起こしてしまう
- ② トイレが整備されていないと不衛生な環境になってしまい、感染症が発生する恐れがある
- ③ トイレが使用出来ないことによる心理的な負担

⇒ トイレ問題は非常に大きい！



各家庭（自助）で簡易トイレを備えてもらえれば、様々なメリットがあると感じた

- ① 仮設トイレと比べ、設置が容易にできる
- ② 能登半島地震では、発災直後6割の避難所で簡易トイレを使用
- ③ 自宅でも使用することができる
- ④ プライバシーの確保ができる

⇒ 心理的な負担の軽減（心のケア）



だれもが安心・安全な避難生活を

「そうぞう（想像・創造）」できるために



能登では実際に避難所を見たり、被災者の方々の声を聞いたりしました。
家庭や地域における簡易トイレの備蓄は、トイレ問題の解決につながると思いました。

- 「食は我慢できても、トイレを我慢することは精神的に辛かった」と被災者からお話を伺いました。心と体の健康を維持することが大切だと考えます。
- 「被災後、水の確保が非常に大変だった」という話を伺いました。限られた資源の中で、誰もが必要最低限の生活を確保するための備えが必要です。

⇒ 防災訓練で簡易トイレを組み立てながら、トイレ対策の重要性と一緒に地域の方々に伝えていただけませんか！

(2)「防災バッグ」のつくり方を伝える

一般的な防災バッグでは、
中身が不十分という方もいるのではないかと

- ・ 笛（楽に音が出るもの）・電池・床に敷くもの・懐中電灯
- ・ 暑さ対策（ネッククーラー、うちわなど）
- ・ 寒さ対策（毛布、カイロ）
- ・ 簡易トイレ（1人あたり1日5枚）・軍手・現金・スリッパ
- ・ 保険証などの貴重品・ラジオ・カップ・歯磨き・ウェットシート
- ・ 給水袋・感染症対策グッズ など



配慮が必要な方に合わせたものを
用意することで、避難所での生活を
補うことができると感じた。

〈想定：高齢者の場合〉

- ・ 常備薬・衛生用品（身体拭き、おむつなど）等

〈想定：乳幼児の場合〉

- ・ 乳児用ミルク・哺乳瓶・離乳食等



だれもが安心・安全な避難生活を
「**そうぞう（想像・創造）**」できるように

- 「被災時に必要なもの」は、個人や家庭によって異なります。家族でよく話し合って準備をすることが重要だとボランティアをとおして学びました。
- 家族の備えについて、家族全員が共通理解していることが大切だというお話を伺いました。また、防災バッグの中身を定期的に確認したり、実際に使ったりすることも重要です。

⇒能登半島地震の現場に行った経験から
防災バッグの中身の大切さを考えました！
防災訓練を通じて、一緒に啓発してください！

まずは家庭で話し合うことが大切です。「自分たちに合った備えと何か」を明確にしておくことで、物資が限られる避難所生活に対応することができると考えます。



自主連合防災隊の皆様へ

中学生が提案する防災訓練を一緒に実施していただけますか。

今回、中学生 11 人は、**2 グループ**に分かれての実施を希望しています。

【希望する訓練内容】（2 グループ同一内容）

【トイレ】

トイレの重要性の周知啓発
簡易トイレの設営訓練



【防災バッグ】

各家庭での防災バッグ（備蓄）の重要性の周知啓発
要配慮者ごとに必要となる資機材の紹介

【希望する訓練会場】

24 自主連合防災隊（19 支部）で行われる防災訓練

- ・ ご協力いただける自主連合防災隊は、**10 月 25 日（金）までに**袋井市危機管理課へお問い合わせください。
- ・ 応募者多数の場合は、ご相談させていただきますのでご承知おきください。



皆様からのお申込み
お待ちしております！

お問合せ先

袋井市役所危機管理課災害対策係

電話番号：0538-86-3710

メール：bousai@city.fukuroi.shizuoka.jp